Doc. No.	OSA 023U-07

yamada

取 扱 説 明 書

オートグリースマシンガン

AMG- 400　MODEL No.853755

⚠ 警告

安全のため、本製品のご使用の前には必ずこの取扱説明書をよく熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

－ はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく充分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。なお、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏面記載の弊社営業所までご連絡ください。

－ 使用目的

本製品は、蛇腹形カートリッジグリース（420ｍＬ用）専用の連射式グリースガンです。
動力としてエアコンプレッサーの圧縮空気にて駆動し、レバーを引くだけで簡単かつスピーディにグリースアップ作業を行なうことができます。機械や車輌をはじめ、グリースアップ機会の多い生産ライン器具としても最適です。
なお、グリース以外の材料には使用できません。

－ 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。
本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をご理解いただくようによくお読みください。

⚠ **警告：** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠ **注意：** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。

この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。

この表示は、必ずしたがっていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

－ 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告

- グリースを取扱う際には重要な注意事項があります。**【グリース取扱上の注意事項】**を熟読の上、ご使用頂くようにお願い致します。
  また、本製品指定の純正カートリッジグリースを必ずご使用ください。

⚠ 注意

- このグリースガンは、グリースを高圧で連続吐出します。自分の手、または人に向けて吐出させるとケガをすることがありますので絶対に止めてください。
- 本製品の最高使用エア圧力は 0.7MPa です。これ以上のエア圧力での使用は、破損等により事故を招くことがありますので、必ず 0.7MPa 以下でご使用ください。
- 本製品にカートリッジグリースを取付ける際、皮膚に触れさせないように注意してください。
  皮膚に触れると炎症を起こす場合があります。**【グリース取扱上の注意事項】**を参照してください。
- 本体の汚れは常に拭き取り、手を滑らせて取り落とさないように注意してください。
  高所で使用する場合、油筒の鎖を引っ掛けて落としたりしないように注意してください。
- 作業終了後や長時間使用しない場合、または本製品を持ち運ぶ場合は、誤作動を避けるため必ずエアの供給口を切り放し、エア供給を止めてください。

＜NOTE＞

・ カートリッジグリースをセットしない状態、或いはグリースが無くなったままでの空運転は、ピストン等の故障原因となりますので絶対に行なわないでください。

・ 本製品は防水対策を施しておりません。雨中等、水がかかる場所には放置しないでください。思わぬ故障の原因となります。

【グリース取扱上の注意事項】

グリースを取扱う場合、下記事項を厳守してください。

⚠ 警告

- 目に入ると炎症を起こすことがあります。取扱う際には保護眼鏡を使用する等、目に入らないようにしてください。
- 皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。取扱う際には保護手袋を使用する等、皮膚に直接触れないようにしてください。
- 食べないでください。（食べると下痢、嘔吐します。）
- 子供の手の届かないところに保管してください。

[応急処置]

- 目に入った場合は、清浄な水で十分に洗浄し、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、水と石鹸で十分に洗ってください。
- 飲み込んだ場合は、無理に吐かせずに直ちに医師の診断を受けてください。

[廃グリース・廃容器の処理]

- 廃グリース・廃容器（カートリッジ）の処理は、法令に従い適正に処理してください。

[保管方法]

- カートリッジグリースは、直射日光を避け暗所に保管してください。

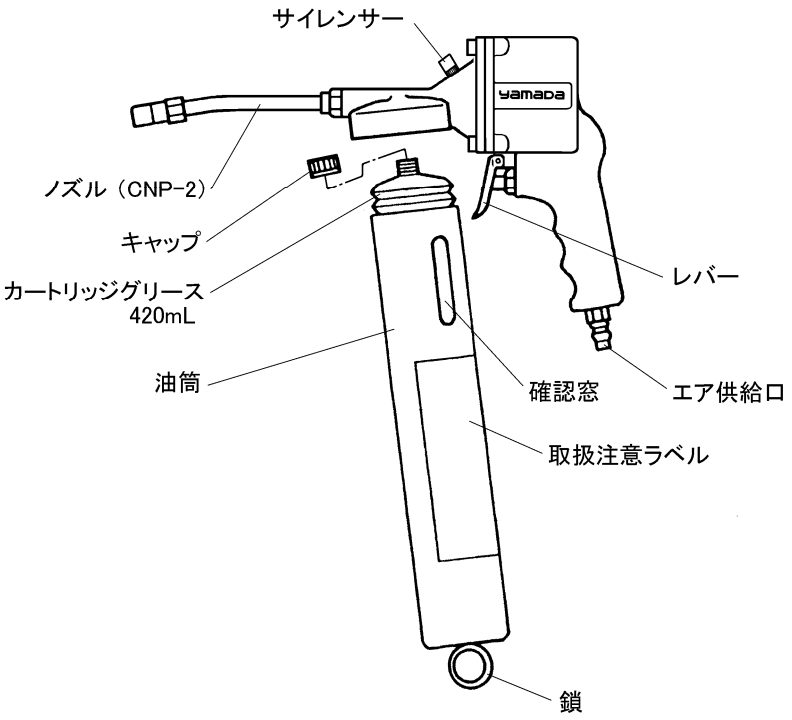
目次

- はじめに
- 使用目的
- 警告･注意事項
- 使用上の注意
- 目次

1. 各部の名称
   - 1.1 各部名称 …… 1
   - 1.2 梱包内容 …… 1
2. ヤマダ純正グリース（カートリッジグリース） …… 1
3. 使用前の準備
   - 3.1 ノズルの取付 …… 2
   - 3.2 蛇腹カートリッジグリースの取付 …… 2
4. 使用方法 …… 3
5. 保守･点検
   - 5.1 故障原因と対策 …… 4
   - 5.2 定期保守 …… 4
   - 5.3 分解図･パーツリスト …… 5
6. 主要諸元 …… 6
7. オプション …… 6
8. 不具合内容 FAX シート …… 7
9. 保証規定 …… 8

1. 各部の名称

1.1 各部名称



1.2 梱包内容

ダンボール箱に本体組立・付属品 （ノズル１本）が別個に収納されています。
製品の損傷及び付属品の有無を確認してください。

2. ヤマダ純正グリース（カートリッジグリース）

MMG-400 タイプ	製品番号
MMG-400 ・MP （リチューム）	682314
MMG-400 ・CG （シャシー）	682313
MMG-400 ・MO （モリブデン）	682312

特殊グリース	製品番号
FDL-FF20 ・食品産業用	685800
NPC-AA ・耐熱用	684200

カートリッジグリースを取扱う場合は、前ページの**【グリース取扱上の注意事項】**を厳守してください。

3. 使用前の準備

3.1 ノズルの取付

1) 付属ノズルの雄ネジ先端から 2 山程度を残し、シールテープを巻いてください。

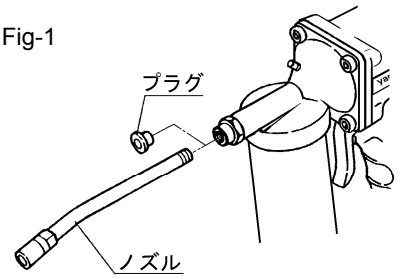
2) 本体吐出口部（Rc1/8 ネジ）のゴミよけプラグを取外し、ノズルをねじ込んでください。（Fig-1）

⚠ 注意

- 本製品は、420mL 蛇腹形カートリッジ専用のグリースポンプです。必ず、本製品指定の純正カートリッジグリースをご使用ください。

＜NOTE＞
・ カートリッジを装着する際、斜めにねじ込んだり、無理にねじ込むと、ネジ部を損傷し、本体に正しく取付けできなくなりますので注意してください。

Fig-1



3.2 蛇腹カートリッジグリースの取付

1) 本体から油筒を反時計方向にねじ戻して外してください。

2) 油筒の鎖を手前に最後まで引き出し、油筒の切り欠き部に鎖を引っ掛けてください。（Fig-2）

3) カートリッジグリースのキャップをねじ戻して外し、カートリッジグリースを本体内のネジ部に取付けてください。（Fig-3）

＜NOTE＞
・ カートリッジグリース装着の際、グリースに砂やゴミなどが付着しないように注意してください。

4) 油筒を元通り本体にねじ込み、鎖を切り欠きより外してください。

Fig-2

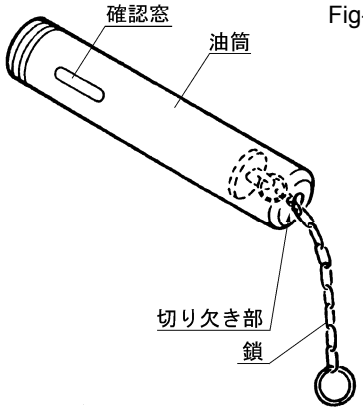
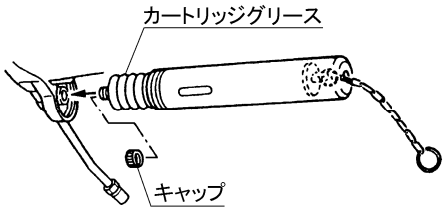


Fig-3



4. 使用方法

⚠注意

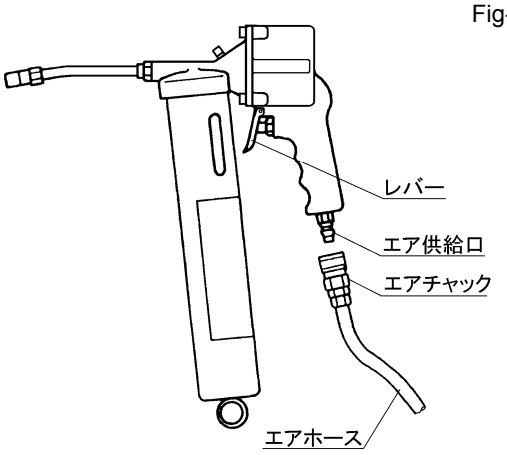
- 作業終了後や長時間使用しない場合、または本製品を持ち運ぶ場合などは、誤作動を避けるため、必ずエアの供給を止めてください。
- 本製品の最高エア使用圧力は 0.7MPa です。これ以上での使用は、破損等により事故を招くことがありますので、必ず 0.7MPa 以下でご使用ください。

1) 広い作業範囲で使用したい場合は、あらかじめエアホースリールなどを用意してください。

2) 本体のエア供給口にエアホースを接続し、0.2～0.7MPa のエアを供給してください。（カプラー接続には、PS タイプのエアチャックを別途用意してください。）（Fig-4）

＜NOTE＞
- 供給エア圧力が 0.7MPa 以上の時は、エアホースラインに減圧弁を取付けてください。

Fig-4



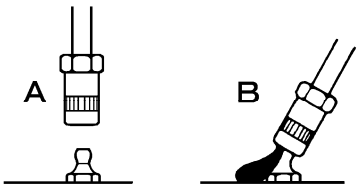
3) エア接続後、レバーを引くと作動を開始し、ノズル先端からグリースが吐出し始めます。

＜NOTE＞
- カートリッジグリース装着後、本製品を初めて使用する場合は、本体内部のエアが抜けるまで、グリースの吐出に時間がかかることがあります。

4) 給脂しようとするグリースニップルとノズルの先端をきれいに拭いてから、ノズル先端をグリースニップルに真っ直ぐに押し当て、チャッキングしてください。（Fig-5 の A）

5) レバーを引いてグリースを給脂してください。
グリースが正常に注入されていると、ニップル付近の溝や隙間から古いグリースが押し出されてきます。

Fig-5



6) 給脂が終了し、ノズルをニップルから外す場合は、ノズルを斜めに傾けて内圧を抜いてから外してください。（Fig-5 の B）
この時、若干のグリースが出てきます。

7) 給脂困難な箇所に使用する場合には、別売りのマイクロホースの利用をご検討ください。（P.6 参照）

5. 保守・点検

5.1 故障原因と対策

状況	原　　因 [1]	点検内容及び対策
作動するが､吐出圧力や流量が不足している	カートリッジが､本体に正しく装着されていない為､空気を巻き込んでいる（装着ネジ曲りや、ねじ込み方が緩いなど）	カートリッジ装着のやり直し、またはカートリッジを交換する
	④エアピストン組立のピストンロッド部の摩耗、⑨Oリングの摩耗	④エアピストン組立の交換、⑨Oリングの交換
	④エアピストン組立内のスプリングのへたり、⑫スプリングのへたり	④エアピストン組立の交換、⑫スプリング品の交換
	①ノズル先端にゴミの詰まり	点検・洗浄
	②ユニオン組立内のスプリングの破損、ボールの摩耗	点検・Assy 交換
	⑮バルブ組立部のゴミ詰まり	清掃または交換
	⑤サイレンサーのゴミ詰まり	清掃または交換
	エアが供給されていない、またはエア圧力が低い	点検・調整
作動が異常に早い	エア圧力が、最高使用圧力を超えている	0.2～0.7MPa 範囲に減圧調整する [2]
作動しない	④エアピストン組立内のスプリングの破損か六角穴付ボルトネジロックの弛み、⑫スプリングの破損	④エアピストン組立の交換、⑫スプリングの交換

[1] 丸付き数字は、次ページ分解図の符号を示す。
[2] エア圧力を減圧調整するには、エア供給ラインに減圧弁を取付けてください。

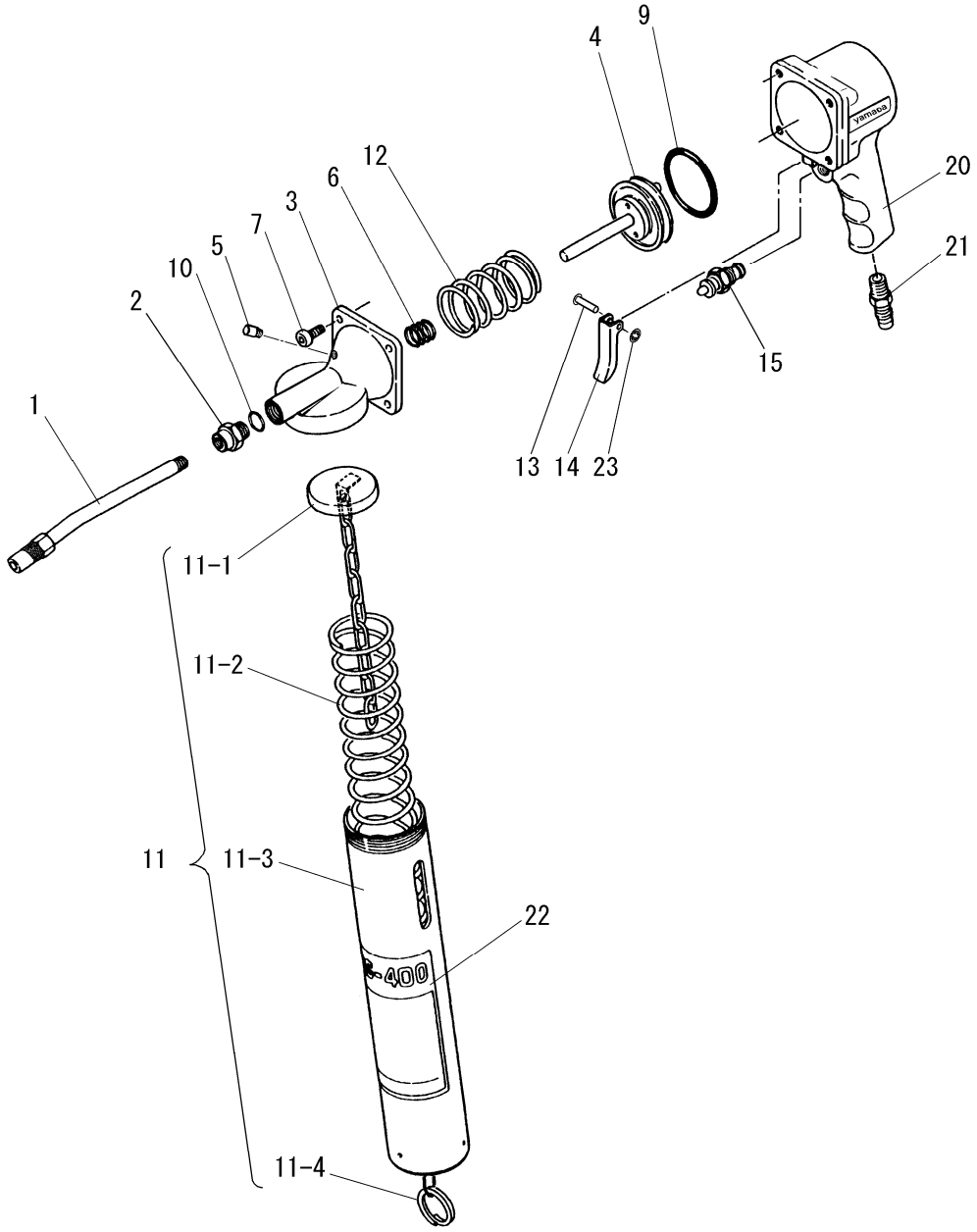
＜NOTE＞
- ④エアピストン組立及び⑮バルブ組立は、非分解構造です。

5.2 定期保守

- 内部部品の潤滑の為に、概ね 10 日使用毎の頻度で、エア供給口から潤滑油を 1～2 滴注入してください。
  カートリッジグリースが装着されていない場合には、注油後 2～3 回空作動させてください。
- 潤滑油は、タービン油 1 種（ISO VG32）、または相当品を使用してください。

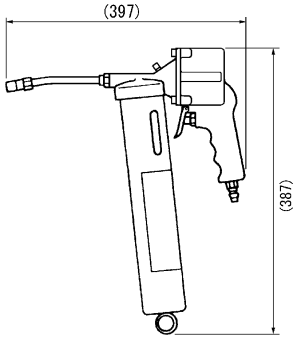
＜NOTE＞
- 本製品は防水性を有しておりません｡雨中等の水のかかる場所に放置しないでください｡故障の原因になります。
- 本製品をぶつけたり、汚れたまま放置しないでください。故障の原因になります。
- 本製品の汚れは必ず拭き取り､清潔に保管してください｡滑って取り落とすと足などをケガする恐れがあります。

5.3 分解図・パーツリスト



No.	部品番号	部品名称	員数	No.	部品番号	部品名称	員数
1	804911	注油ノズル	1	11-2	711032	スプリング	1
2	802604	ユニオン組立	1	11-3	831736	油筒	1
3	714935	本体	1	11-4	707792	二重リング	1
4	832652	エアピストン組立	1	12	714936	スプリング	1
5	681170	サイレンサー	1	13	686521	リベット	1
6	685423	スプリング	1	14	710055	レバー	1
7	619098	六角穴付ボルト	4	15	832692	バルブ組立	1
9	640048	Oリング	1	20	714944	握り本体	1
10	686269	Oリング	1	21	680743	口金	1
11	802954	油筒組立	1	23	686522	止め輪	1
11-1	831794	振れ止め組立（鎖付）	1				

6. 主要諸元

製品番号	853755
型　　式	AMG-400
適　　用	420 mL 蛇腹式カートリッジグリース専用
最高吐出圧力	32 MPa
使用エア圧力	0.2～0.7 MPa
最大吐出量	310 mL/min
質　　量	1.8 kg　（付属品除く）
付属品	804911　CNP-2 ノズル
外観寸法	

7. オプション

- 給油口が狭い所や奥深く給脂しにくい場所にある場合、夫々に適したマイクロホースを用意しておりますのでご利用ください。
- 付属のノズルに替えてマイクロホースを取付ける時は、ユニオン組立まで取外さないように注意してください。（Fig-6）

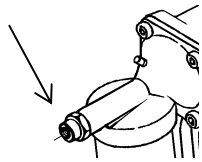
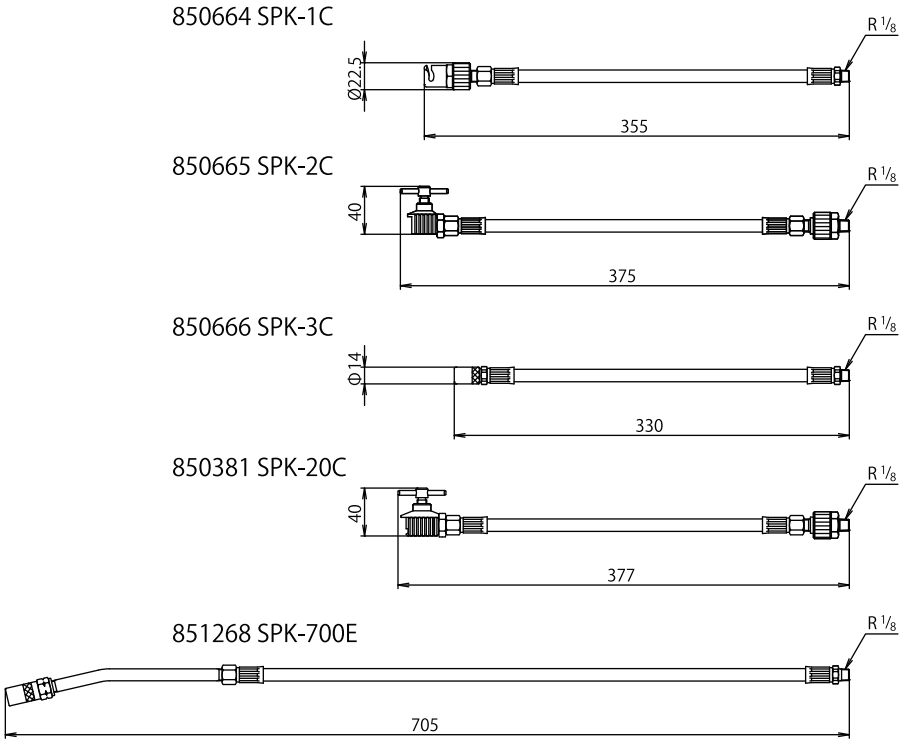


Fig-6



8. 不具合内容 FAX シート

不具合･故障の原因を追求するために、及び修理サービスの充実を図るために必要となりますのでお手数ですが下記の FAX シートに必要事項を記入して、弊社営業所宛てに送信してください。

不具合内容 FAX シート	
フリガナ 貴社名 _____	フリガナ ご担当者名 _____
フリガナ ご住所 _____	 ご所属 _____
  _____	ご連絡先 Tel. （ ）_____－_____ Fax. （ ）_____－_____
製品名	型式
使用期間 20 年 月 ～ 年 月	SERIAL No. （LOT No.）
運転頻度 □連続 □断続 hr／日･週･月	購入年月日 購入販売店
機器の状態（不具合の内容）	

9. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起こりました場合には、納入日より１２か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。
ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間： 製品を納入申し上げた日より起算して１２か月間といたします。

2.保証内容： 期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外： 期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

(1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
(2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
(3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解する様な液剤を使用されて生じた故障。
(4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
(5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
(6) パッキン、O リングなどの消耗部品の摩耗。
(7) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
(8) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
(9) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用した場合に発生した故障。
(10) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適当な油脂を使用された場合の故障。
(11) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類　　・各種パッキン類　　・コード類

4.補修部品： 補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後５年とさせていただきます。製造打ち切り後５年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

MEMO.

製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお願い致します。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業部	〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL (03) 3777-4101 (代)	FAX (03) 3777-3328
札幌営業所	〒062-0002 札幌市豊平区美園二条 6 丁目 3 番 16 号	TEL (011) 821-0630 (代)	FAX (011) 821-0949
東京営業所	〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL (03) 3777-3171 (代)	FAX (03) 3777-6770
名古屋営業所	〒463-0052 名古屋市守山区小幡宮ノ腰 7 番 38 号	TEL (052) 795-0222 (代)	FAX (052) 795-0444
大阪営業所	〒537-0025 大阪市東成区中道 3 丁目 15 番 2 号	TEL (06) 6971-5301 (代)	FAX (06) 6974-0497
福岡営業所	〒812-0888 福岡市博多区板付 5 丁目 18 番 14 号	TEL (092) 581-5477 (代)	FAX (092) 581-6524

YAMADA AMERICA Inc.	955 E.ALGONQUIN RD., ARLINGTON HEIGHTS, IL 60005,USA	TEL 1-847-631-9200
YAMADA EUROPE B.V	Aquamarijnstraat 50-7554 NS Hengelo(O), The Netherlands	TEL 31-0-74-242-2032
雅玛达(上海)泵业贸易有限公司	上海市浦东新区金桥镇三桥村 2690 弄南底层 2 号	TEL 86-21-3895-36

201204 OSA023U